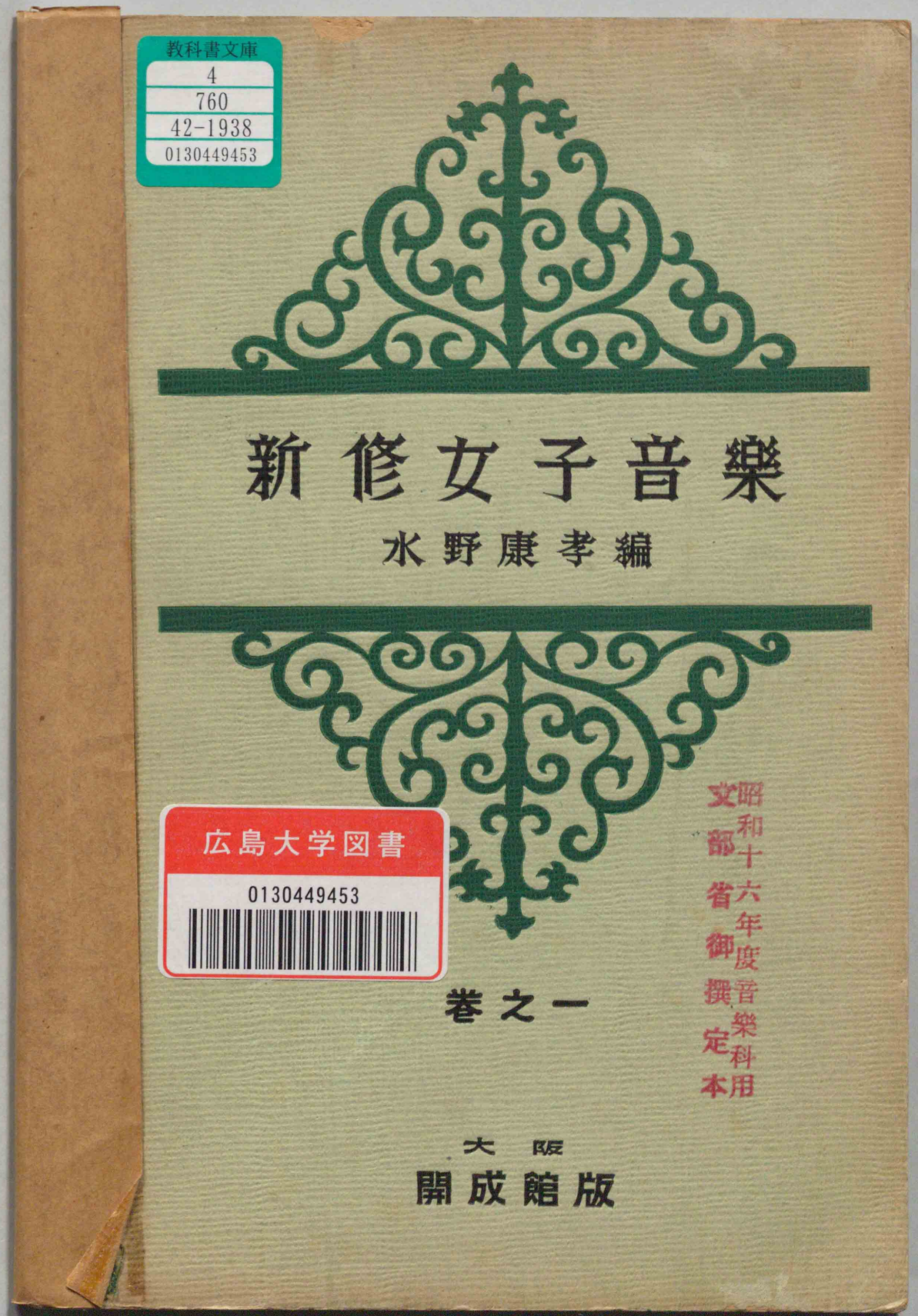
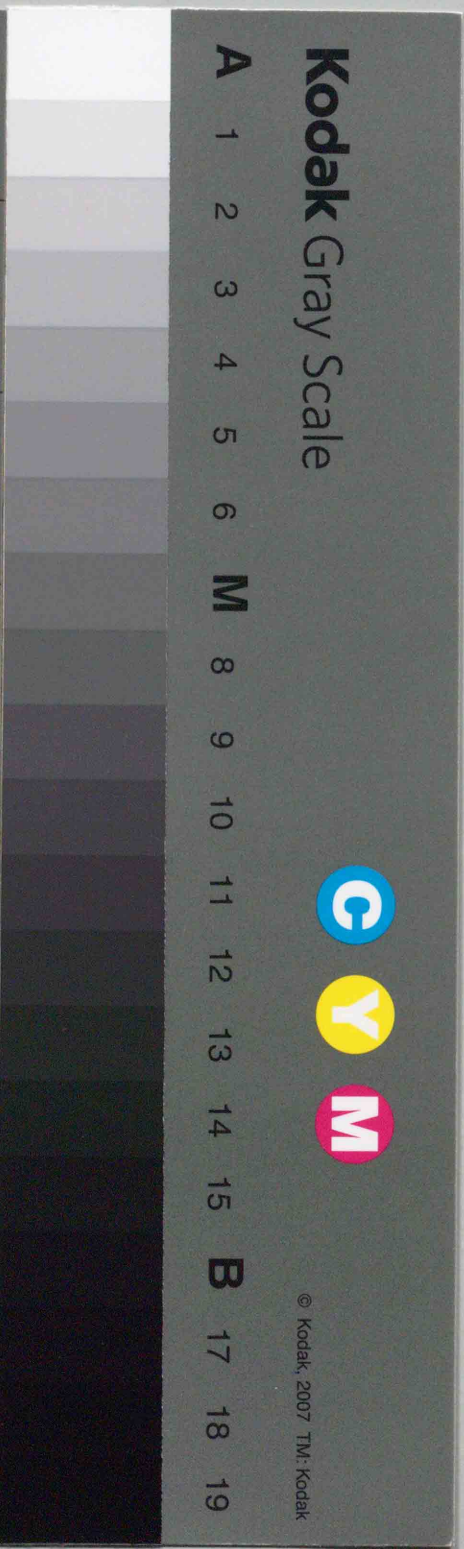
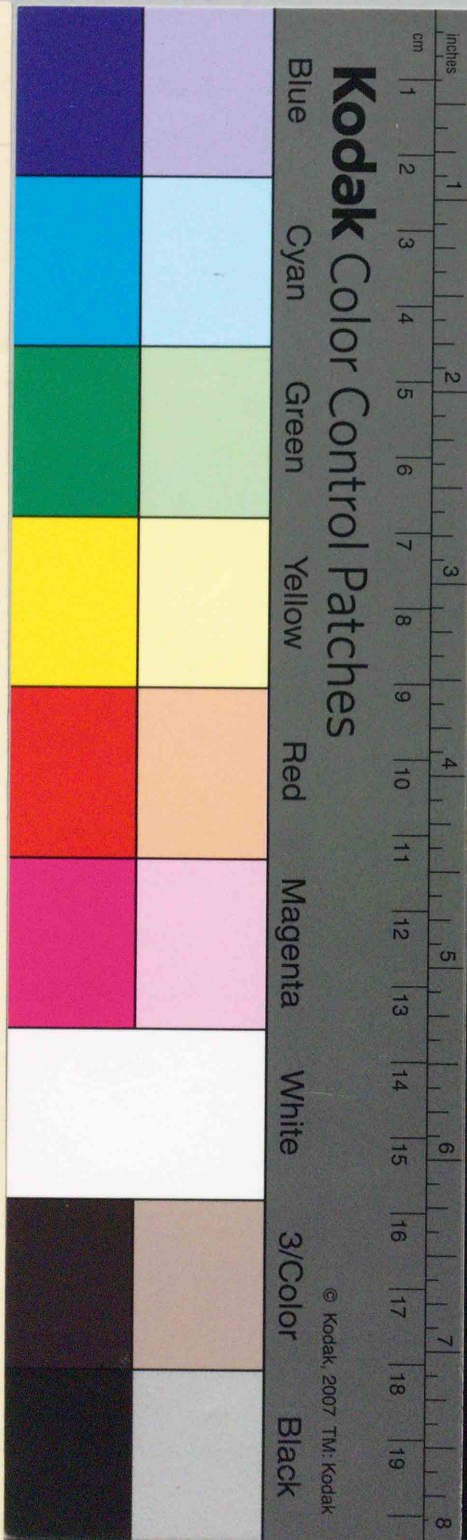


41035

教科書文庫

4
760
42-1939 <sup>8</sup>
01304 49453



中央図書館

教科書文庫

4

760

42-1938

0130449453

文部省検定済

昭和十三年四月七日 高等女学校・実業学校音楽科用

# 新修女子音楽

大阪府女子専門学校教授

水野康孝編



卷之一

広島大学図書

0130449453



広島大学図書

0130449453



大阪

開成館版

## 緒 言

本書は高等女學校及び實業女學校教科用書として編纂しました。

一 教材の選擇と配列については特に意を用ゐました。先づ四季各趣各態の自然行事を歌つたものを選び、以て美感を養ひ、心情を高潔ならしめる事に留意すると共に、一方現代の世相に鑑み、國體の精華と本邦獨特の婦道を讃へたものを選び、音樂を通じて國民精神の涵養に資したい目的を以て編纂致しました。

二 歌詞は著名作家に依頼しまして總て新に作詞して頂き、傳統を尊ぶと共に時代思潮に逆はず、明朗健康なるものを得ました。

三 樂曲は

イ 清新を旨として本邦有名作曲家を煩して新に作曲を願つたもの

ロ 西歐名曲中未だ世に知られないもの

ハ 人口に膾炙したる樂曲中、今尙藝術的香氣高きものを採録しました。

四 歌詞と樂曲とのアクセントの一致融合は歌曲として最も重要な事でありますので此點には特に關心留意しました。

五 一、二、三學年には各樂曲に適應した豫備練習曲を、四學年には音階練習曲を卷頭に配して、學習の便に供しました。

以上の趣旨に據るものでありますが、御批正を得て一層内容の充實を得ば幸甚と存じます。

編 者 識

# 新修女子音樂

## 卷之壹 目次

### 音樂通論

音 符.....	1
音符	
附點音符	
休 止 符.....	3
休止符	
附點休止符	
譜 表.....	4
譜表のよび方	
譜表の種類	
音 名.....	5
長 音 階.....	6
縦 線 及 び 小 節.....	7
拍 子.....	8
二拍子	
三拍子	
四拍子	
六拍子	

### 練 習 曲

1. 2. 3. 4. ....	10
------------------	----

5. (一) 學 <small>び</small> の園生 練習曲	11
6. (二) 國 旗 練習曲	11
7. (三) 櫻 練習曲	11
8. (四) 春 曉 練習曲	12
9. (五) 遠 足 練習曲	12
10. (六) 若 葉 練習曲 1	12
11. (六) 若 葉 練習曲 2	12
12. (七) 螢 練習曲	13
13. ♮長調	13
14. (一〇) 月 見 草 練習曲	13
15. (一二) 針 と 糸 練習曲	13
16. (一三) 野 分 練習曲 1	14
17. (一三) 野 分 練習曲 2	14
18. (一四) 秋 祭 練習曲	14
19. (一五) 紅 葉 練習曲 1	14
20. (一五) 紅 葉 練習曲 2	15
四分の四拍子	15
速度標語	16
強弱記號	17

(一) 學 <small>び</small> の園生	18
強起・弱起	20
(二) 國 旗	21
(三) 櫻	22
(四) 春 曉	24
スラー	25
四分の二拍子	26
(五) 遠 足	27
四分の三拍子	28
(六) 若 葉	29
延長記號	30
(七) 螢	31
(八) 夕涼み	32
(九) 七 夕	34
嬰記號・變記號及び本位記號	36
嬰・變及び本位記號の用法	
臨時記號として用ゐる場合	
調號として用ゐる場合	
♮調長音階	37
タイ	38
(一〇) 月見草	40
反復記號	41

# 音樂通論

## 音符

音の長さを表はす記號を音符と云ふ。

その名稱形狀及び歷時は次のやうである。

## 音符

(全音符を四の長さとするば)

種類	形狀	拍數
全音符	○	4
二分音符	♪	2
四分音符	♩	1
八分音符	♪	$\frac{1}{2}$
十六分音符	♩	$\frac{1}{4}$
三十二分音符	♩	$\frac{1}{8}$

## 附點音符

種類	形狀	拍數
附點全音符	○	6
附點二分音符	♪	3
附點四分音符	♩	$1\frac{1}{2}$
附點八分音符	♪	$\frac{3}{4}$
附點十六分音符	♩	$\frac{3}{8}$

(一一) 運動會	42
短音階	44
(一二) 針と糸	46
(一三) 野分	48
八分の六拍子	50
(一四) 秋祭	51
〜長調	52
〜長調練習曲	53
(一五) 紅葉	54
(一六) 取入れ	56
(一七) 新月	58
(一八) 霜	60
(一九) 煤拂ひ	62
(二〇) 羽子つき	64
(二一) 山茶花	66
(二二) 木枯し	68
(二三) 日向ぼこり	70
(二四) お彼岸	72
(二五) 少女の誇	74

附點の音長は基本音符の音長の二分の一である。それ故、附點音符の音長は基本音符の音長の一倍半となる。

附 點 音 符 一 覽 表	
音 符	○. = ○ + ♩
拍 數	6 = 4 + 2
音 符	♪. = ♩ + ♪
拍 數	3 = 2 + 1
音 符	♩. = ♩ + ♪
拍 數	1½ = 1 + ½
音 符	♪. = ♪ + ♫
拍 數	¾ = ½ + ¼
音 符	♩. = ♩ + ♪
拍 數	¾ = ¼ + ⅛

### 休止符

音の黙止する長さを表示する記號を休止符と云ふ。其名稱・形狀及び長さは次のやうである。

### 休止符

(全休止符を四とすれば)

名 稱	全 休 止 符	二 分 休 止 符	四 分 休 止 符	八 分 休 止 符	十 六 分 休 止 符	三 十 二 分 休 止 符
形 狀						
拍 數	4	2	1	½	¼	⅛

### 附點休止符

名 稱	附 點 全 休 止 符	附 點 二 分 休 止 符	附 點 四 分 休 止 符	附 點 八 分 休 止 符	附 點 十 六 分 休 止 符
形 狀					
拍 數	6	3	1½	¾	⅜

### 譜表

譜表は同長・同間隔なる五本の並行横線より成り、音符又は休止符を記載する爲に用ゐる。譜表上に記載した音符の位置により音の高度を示す。

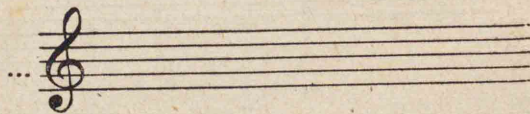
#### (1) 譜表のよび方



#### (2) 譜表の種類

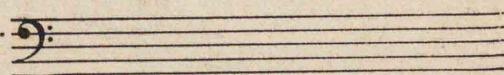
##### A 高音部譜表

高音部記號 }  
又はト音記號 }

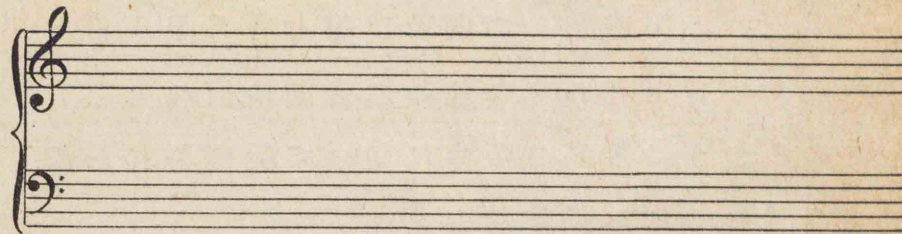


##### B 低音部譜表

低音部記號 }  
又はヘ音記號 }



### C 大譜表



この他なほ色々な譜表があれど略す。

### 音名

音の高度によつて附けた名稱を音名と云ふ。音名を高音部譜表に配記すれば次のやうである。



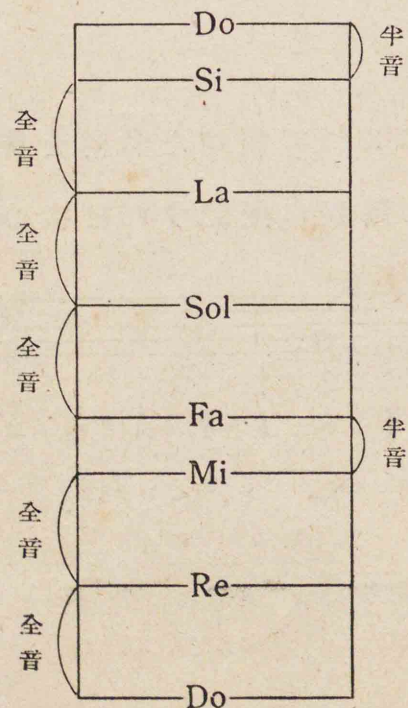


### 長音階

第三音と第四音との間、及び第七音と第八音との間に半音を有し、その他の二音間は何れも全音であるやうに音高の順序に従つて配列された八つの音の一系列を長音階と云ふ。

音階の各段階につけた名稱を階名と云ふ。

長音階音階圖



長音階を高音部譜表に配記すれば次のやうになる。



このやうにハ音(高音部譜表の下一線)より八音上(又は下)のハ音にいたる間に長音階を構成したものをハ調長音階と云ふ。

### 縦線及び小節

音の強弱の部分を明かにする爲め、縦線を以て樂曲を等しき拍數の小部分にわけける。この小部分を小節と云ふ。

縦線に單縦線(一本の縦線)と複縦線(二本の縦線)とがある。



### 拍子

楽曲には強部と弱部とが規則正しくあらはれるものである。

その形を拍子と云ひ、通例用ゐられる拍子には次のやうな種類がある。

(1) 二拍子 (一小節間を二拍に數へるもの。)

$\frac{2}{2}$  又は  $\phi$  .....二分の二拍子

$\frac{2}{4}$  .....四分の二拍子

(2) 三拍子 (一小節間を三拍に數へるもの。)

$\frac{3}{2}$  .....二分の三拍子

$\frac{3}{4}$  .....四分の三拍子

$\frac{3}{8}$  .....八分の三拍子

(3) 四拍子 (一小節間を四拍に數へるもの。)

$\frac{4}{4}$  又は  $C$  .....四分の四拍子

$\frac{4}{8}$  .....八分の四拍子

(4) 六拍子 (一小節間を六拍に數へるもの。)

$\frac{6}{8}$  .....八分の六拍子

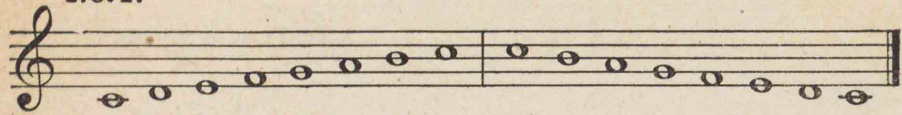
$\frac{6}{4}$  .....四分の六拍子

分數形に記載する拍子記號の分母の數字は一  
拍に數へる音符又は休止符の種類を示し、分子の  
數字は一小節間の拍數を表はす。

(拍子には猶色々な種類あれど略す。)

練習曲

No. 1.



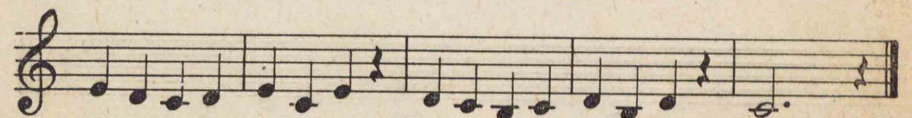
No. 2.



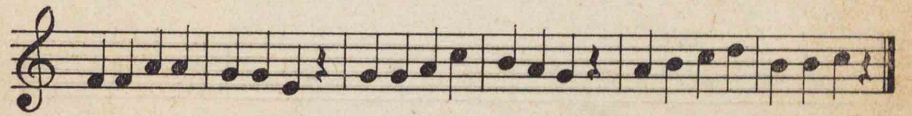
No. 3.



No. 4.



No. 5. (一) 學びの園生練習曲



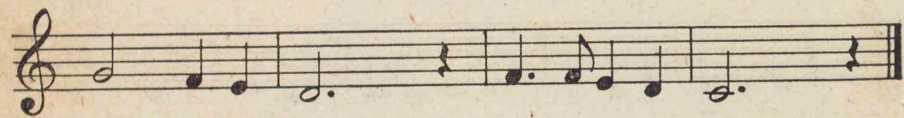
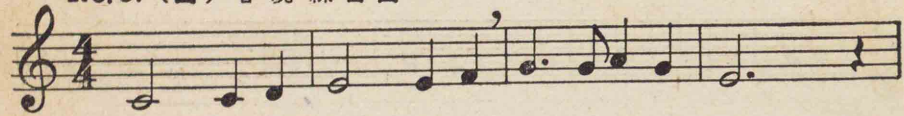
No. 6. (二) 國旗練習曲



No. 7. (三) 櫻練習曲



No.8. (四) 春曉練習曲



No.9. (五) 遠足練習曲



No.10. (六) 若葉練習曲 1.



No.11. (六) 若葉練習曲 2.



No.12. (七) 螢練習曲



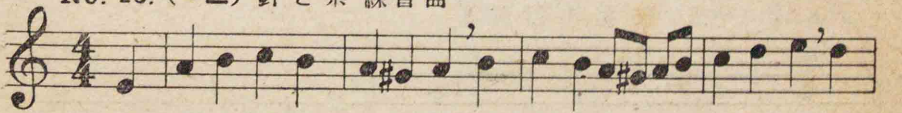
No.13. 卜長調練習曲



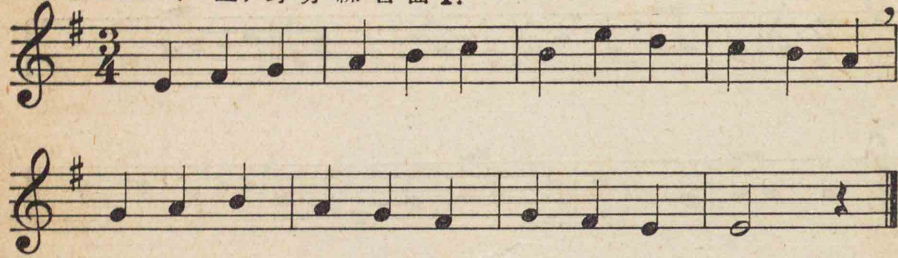
No.14. (一〇) 月見草練習曲



No.15. (一二) 針と糸練習曲



No.16. (一三) 野分練習曲 1.



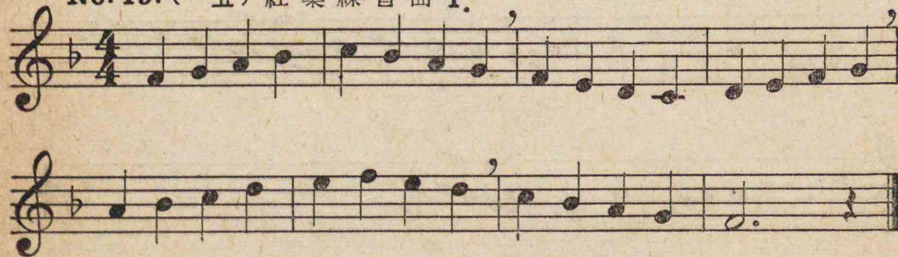
No.17. (一三) 野分練習曲 2.



No.18. (一四) 秋祭練習曲



No.19. (一五) 紅葉練習曲 1.



No. 20. (一五) 紅葉練習曲 2.



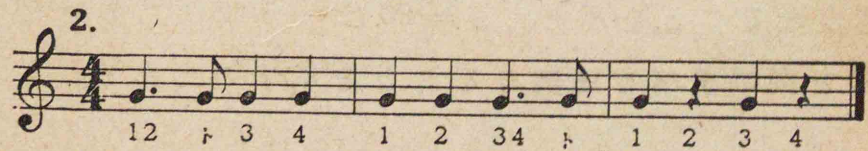
四分の四拍子

四分音符を一拍とし、一小節間を四拍に數へるときは四分の四拍子と云ふ。



となる。

拍子の數へ方



### 速度標語

楽曲は夫々固有の速度(tempo)を有するものである。その速度を表示する標語を速度標語と云ふ。普通に用ゐる速度標語は次のやうである。

<sup>ラルゴ</sup> Largo,	<sup>レント</sup> Lento,	<sup>グラヴェ</sup> Grave	非常にゆるやかな速度
<sup>アダジオ</sup> Adagio,	<sup>ラルグット</sup> Larghetto		ゆるやかな速度
<sup>アンダンテ</sup> Andante,	<sup>アンダンチーノ</sup> Andantino		やゝ遅い速度
<sup>モデラート</sup> Moderato			普通の速度
<sup>アレグレット</sup> Allegretto,	<sup>アレグロ</sup> Allegro	<sup>モデラート</sup> moderato	やゝ速い速度
<sup>アレグロ</sup> Allegro,	<sup>アニマート</sup> Animato		速い速度
<sup>プレスト</sup> Presto,	<sup>プレスティッシモ</sup> Prestissimo		非常に速い速度

楽曲の速度は ♩ = 112 又は ♩ = 60 の如くメトロノーム(拍節器)によつて表示することがある。

♩ = 112 は一分間に四分音符 112 を奏唱すべき速度なることを示し、♩ = 60 は一分間に二分音符 60 を奏唱すべき速度なることを示すのである。

### 強弱記號

楽曲の趣を喚起するために、楽曲の一部又は一音符に強弱を附けることがある。そのために用ゐる記號を強弱記號といふ。

#### イ. 楽曲の一部分に關する強弱記號

- ff.* (<sup>フォルテッシモ</sup> Fortiss.mo の略).....極めて強く
  - f.* (<sup>フォルテ</sup> Forte の略).....強く
  - mf.* (<sup>メゾフォルテ</sup> Mezzoforte の略).....中強(*f*より稍弱く)
  - mp.* (<sup>メゾピアノ</sup> Mezzopiano の略).....中弱(*p*より稍強く)
  - p.* (<sup>ピアノ</sup> Piano の略).....弱く
  - pp.* (<sup>ピアニッシモ</sup> Pianissimo の略).....極めて弱く
- pp-p-mp-mf-f-ff*

#### ロ. 一音符に關する強弱記號

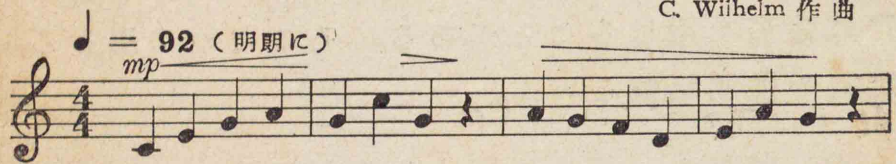
Λ > 又は *sf*.....一音符だけ特に強く

#### ハ. 漸次に強くし又は漸次に弱くする記號。

- cresc.* (<sup>クレッシェンド</sup> Crescendo) 又は <.....漸強
- delesc.* (<sup>デクレッシェンド</sup> Decrescendo) } 又は >.....漸弱
- dim.* (<sup>ディミヌエンド</sup> Diminuendo) }

# 學びの園生

C. Wilhelm 作曲



1. アツマリ アソビ アツマリ マナブ  
 2. ことりに なるか たのしき われら



ハルビノ ゴトキ ココロヨ カラダ  
 まなびの そのの はなをば たづね



ナカヨク トモニ ノビユク ワレラ  
 らしきを ひろめ のびゆく われら

# 一、學びの園生

一、集り遊び、

春日の如き

なかよくともに

集り學ぶ、

心よ、身體。

伸びゆく我等。

二、小鳥に似るか、

學びの園の

知識をひろめ、

樂しき我等。

花をばたづね、

伸びゆく我等。

正  
富  
汪  
洋

### 強起・弱起

楽曲には強拍から起るものと、弱拍から起るものとの兩種がある。

弱拍から始まる曲は強拍で終り、最初の小節と最終の小節を合せて完全な一小節となる。

—◆—

<p>三、心も 晴れ晴れ、望も湧く、 かがやく 日の丸 仰ぎ見れば。</p>	<p>二、さしそふ 朝の光を受けて、 門邊に ひらめく 御國の旗。</p>	<p>一、仰げよ、み空に 色も清き、 紅染めたる 日の御旗を。</p>
--	---	---

二 國 旗  
川 路 柳 虹

## 國 旗

A. Weidig 作曲

♩ = 96 (明快に)  
mf

1. ア フ ゲ ヨ ミ ソ ラ ニ イ ロ モ キ ヨ キ ク
2. さ し そ ふ あ した の ひ か り う け て か
3. コ コ ロ モ ハ レ バ レ ノ ゾ ミ モ ワ ク カ

- レ ナ キ ソ メ タ ル ヒ ノ ミ ハ タ ラ  
ど べ に ひ ら め く み く に の は た  
ガ ヤ ク ヒ ノ マ ル ア フ ギ ミ レ バ

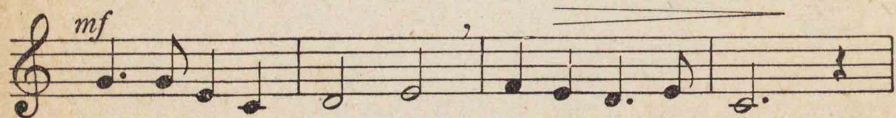


櫻

J. Stainer 作曲



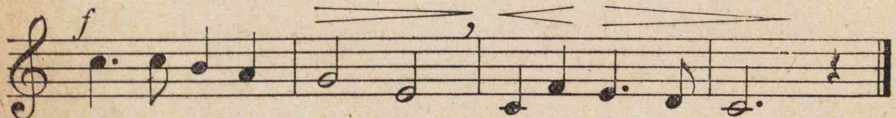
1. サ ク ラ ノ ハ ナ ホ ノ ボ ノ ト  
 2. さ く ら の は な ち り ぎ は の  
 3. サ ク ラ サ ク ラ ヒ ト ノ ヨ ニ



ハ ル ノ ア サ ノ ユ メ ノ イ ロ  
 い さ ぎ よ き を た た へ ら れ  
 キ ヨ キ ク モ フ ナ ビ カ セ テ



ア サ ヒ サ セ バ カ ガ ヤ キ テ  
 は な の も と に ひ と び と は  
 サ ケ ヨ ニ ホ へ イ ツ マ デ モ



フ ト メ ノ ホ ホ オ モ ハ セ ス  
 お ぼ ろ づ き を な が め た り  
 ヤ マ ト ノ ハ ナ ヨ キ ハ ナ ヨ

三 櫻

一、さくらのほな、ほのほのと、  
 春のあさの 夢のいろ、  
 朝日させば かがやきて、  
 少女の頬 思はせぬ。  
 二、さくらのほな、  
 散り際の  
 潔きを たたへられ、  
 花の下に ひとびとは  
 おぼろ月を 眺めたり。  
 三、さくらさくら、  
 清き雲を 人の世に  
 咲けよ匂へ、  
 大和の花よ、  
 良き花よ、  
 なびかせて、  
 いつまでも、

白鳥省吾

# 春 曉

Malan 作曲



1. シ ヅ カ ナ ル ヤ マ ノ ハ  
 2. し づ も れ る み や ま に



ニ ホ ヤ カ ニ ア カ ネ サ シ  
 さ き に ほ ふ さ く ら ば な



mp ア カ ツ キ ノ ヒ ー ト ト キ  
 こ こ か し こ ひ に は え て



mf ウ グ ヒ ス ノ コ エ ア リ  
 は る は い ま あ け ほ の

# スラー

音高を異にせる二音符又は數音符にかけた弧線はスラーと云ひ、スラーの附いた音符は圓滑に奏唱すべきことを表示する。

一、靜かなる  
 にほやかに  
 あかつきの  
 鶯の  
 聲あり。

二、しづもれる  
 咲きにほふ  
 桜ばな。

三、深山に、  
 陽にはえて、  
 あけぼの。

四、山  
 の端、  
 茜さし、  
 ひととき、

四 春

曉

山

内

義

雄

### 四分の二拍子

四分音符を一拍とし一小節間を二拍に數へるときは四分の二拍子と云ふ。

アクセントは 

となる。

はるの	ともに	たにの	うぐひす	木の	二、友よ	はるの	なくや	すみれ	うちつれ	朝風も	一、友よ
ひとひ	いこひ	ながれ	わかき	間より	來よや、	ひかり	雲雀	かをる	いざや	こちよや、	來よや、
たのし。	うたふ、	むすび、	聲や。	もれくるは	愉し、	うらら。	たかく、	野邊に、	行かむ。	うれし、	うれし、

### 五遠足

富原義徳

### 遠足

H. Parker 作曲



1. トモヨコヨヤ ウレ シアサカゼ モココ
2. ともよこよや たの しこのまよりもれ



チヨ ヤ ウチツレイ ザヤ ユカ ム ス  
くる は うぐひす わかき こゑ や た



ミレカヲールー ノ ベニ ナクヤ ヒバリ  
にのながれ一む すび とともに いこひ



タカク ハルノー ヒカリウラ ラ  
うたふ はる一のひとひたのし

### 四分の三拍子

四分音符を一拍とし、一小節間を三拍に數へるときは四分の三拍子と云ふ。

アクセントは 

となる。

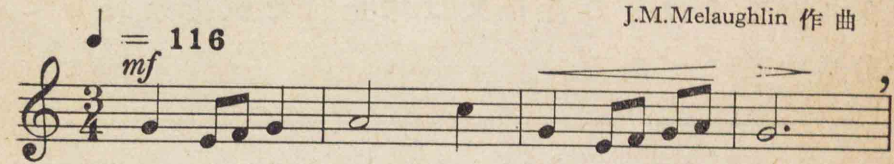
三、露 <small>つゆ</small> に夜 <small>よ</small> は かすかなる 濡 <small>ぬ</small> れつつ ほろりほろ 奏 <small>かな</small> づる。	二、そよぐ風 <small>かぜ</small> 豊 <small>ゆた</small> かなる さらりさら はらりはら 奏 <small>かな</small> づる。	一、そそぐ雨 <small>あめ</small> 静 <small>しず</small> かなる さらりさら さらりさら 奏 <small>かな</small> づる。
葉末 <small>はすゑ</small> 重 <small>おも</small> き 若葉 <small>わかば</small> や、	夕 <small>ゆふ</small> を 葉裏 <small>はうら</small> かへす 若葉 <small>わかば</small> や、	緑 <small>き</small> に 朝 <small>あさ</small> を映 <small>は</small> ゆる 若葉 <small>わかば</small> や、

### 六 若 葉

福 田 正 夫

### 若 葉

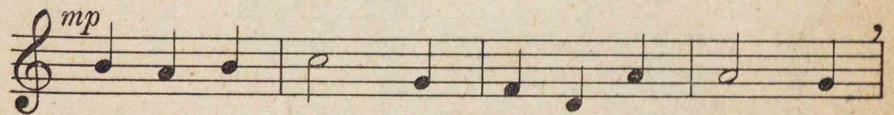
J.M.Melaughlin 作曲

$\text{♩} = 116$   
*mf* 

1. ソ ソーグ ア メ ミ ドーリー ニ
2. そ よーぐ か ぜ ゆ ふーべー を
3. ツ ユーニ ヨ ハ ヌ レーツー ツ



ア サ フ ハ ユ ル ワ カ バー ヤ  
は ろ ら か へ す わ か ばー や  
ハ ズ エ オ モ キ ワ カ バー ヤ

*mp* 

シ ヅ カ ナ ル シ ラ ベ フ モ  
ゆ た か な る し ら べ を も  
カ ス カ ナ ル シ ラ ベ フ モ

*mf* 

サーラーリー サ ラ カーナ ヅ ル  
はーらーりー は ら かーな づ る  
ホーローリー ホ ロ カーナ ヅ ル

延長記號 (フェルマータ) ◡

音符又は休止符の上或は下に延長記號◡の附記されたときは、その音符又は休止符を數倍延長して奏唱するのである。

七 螢

二、 笛 <sup>ふえ</sup> 竹 <sup>たけ</sup> ふれば 足 <sup>あし</sup> もと 手 <sup>て</sup> もと てらす光 <sup>ひかり</sup> 、 わたる、 われと行き、 青 <sup>あお</sup> くひかれ。	一、 くさむらしげる 星 <sup>ほし</sup> と 見 <sup>み</sup> ゆるまでに、 里 <sup>さと</sup> の川 <sup>がは</sup> べ、 闇 <sup>やみ</sup> をぬひて、 高く <sup>たかく</sup> 低 <sup>ひかく</sup> く。	ちらばる 星 <sup>ほし</sup> と 見 <sup>み</sup> ゆるまでに、	一、 ちらばる 星 <sup>ほし</sup> と 見 <sup>み</sup> ゆるまでに、
--	--	--	--

濱田 廣 介

螢

Luton Wood 作曲

♩ = 104  
mp

1. ク サムラシ ゲル サ トノカハ ベ チ  
2. さ さだけふ れば か るくおち て あ

mf

ラバル ホ シト ミ ュル マ デ = ホ  
しも と て も と て らす ひ か り ほ

タル ホ タル ヤ ミヲヌヒ テ ス  
たる ほ たる わ れ と ゆ き て び

イ ス イ ト ビ カ フ タ カ ク ヒ ク ク  
か び か ま ど べ に あ を く ひ か れ

# 夕涼み

Hauptmann 作曲



1. ナ ッ ノ ユ フ グ レ ウ ミ ノ キ シー  
 2. け ふ の お よ ぎ に う み の か な



ニ フ キ タ ル カ ゼ ー フ コ カ  
 た よ ー せ く る な み ー を た く



ガ ニ ウ ケー テ ス ズ ム ハ タ ノ シ  
 み に き り ー し お も ひ で た の し

# 八夕涼み

一、夏の夕暮、海の岸に、  
 吹き来る風を 樹陰にうけて  
 涼むは たのし。

二、今日の泳に 海のかなた、  
 寄せ来る浪を 巧みに切りし  
 思ひ出たのし。

小林愛雄

# 七夕

B. Hartford 作曲



1. コヨヒコソ ウレシ タナバタヨ ササ  
 2. をとめごの まつる たなばたよ みほ



ノ ハヲ ワ タル カゼスズ シ ミ  
 し に ぞ さ さげん う た の も じ し



ソ ラ ニ ト ホ キ ア マ ノ ガ ハ サ ラ  
 る せ し し き し た ん ざ く の ひ ら



サ ー ラ カ ハ ラ ニ ナ ミ ノ タ ツ ラ ン  
 ひ ー ら あ を ざ さ こ ざ さ に ゆ れ ぬ

# 九七夕

川路柳虹

一、今宵こそ うれし 七夕よ、  
 笹の葉をわたる 風すずし。

み空に遠き 天の川、

さらさら 河原に浪のたつらん。

二、少女子の祭る 七夕よ、

み星にぞ ささげん 歌の文字。

記せし色紙 短冊の、

ひらひら 青笹 小笹に揺れぬ。

### 嬰記號・變記號及び本位記號

- # 嬰記號(シャープ) 幹音を半音上げる記號
- b 變記號(フラット) 幹音を半音下げる記號
- ♮ 本位記號(ナチュラル) 幹音にかへす記號

### 嬰・變及び本位記號の用法

#### (1)臨時記號として用ゐる場合

樂曲中の音符の左側に嬰・變又は本位記號を附記して音高に變化を與へる。

註. 臨時記號は其記號を附せられた音より以下其小節間の同名の音に有効である。

例



#### (2)調號として用ゐる場合

嬰記號又は變記號は音部記號の直次に附記されて調子の名稱を示す。故に之を調號と云ふ。

### ト長調

高音部譜表の第五線(へ音)に嬰記號(#)の附記せられた時はト長調と云ふ。

ト長調はト音に相當する線又は間が主音(Do)となる。それ故高音部譜表に於ては第二線及び上一間等が主音である。



### ト調長音階

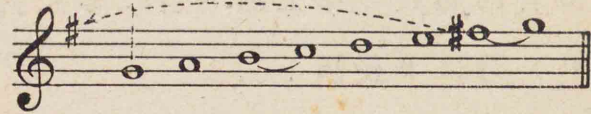




ハ調長音階



ト調長音階



### タイ

同じ高さの二音間にかけた弧線をタイ(tie)と云ひ、タイの附いた音符はその二つの音符の歴時を合せ一音符のやうに奏唱する。

## 一〇月見草

佐  
澤  
波  
弦

一、夕ゆふべは

しづけき

海うみの岸きし邊べ

ほころび

そめたる

月見草つきみさう。

二、月つきかけ

さやけく

のぼる頃ころは、

夜露よつゆに

しめれる

月見草つきみさう。

三、別わかれし

わが友とも

今いまはいづこ、

そぞろに

なつかし

月見草つきみさう。

# 月見草

O. Miessner 作曲

♩ = 104 (滑らかに)

1. ユ フ ベ ハ シ ヅ ケ キ ウ  
 2. つ き か げ さ や け く の  
 3. ワ カ レ シ ワ ガ ト モ イ

ミ ノ キ シ ベ —  
 ぼ る こ ろ は —  
 マ ハ イ ズ コ —

ホ コ ロ ビ ソ メ タ ル ツ  
 よ つ ゆ に し め れ る つ  
 ソ ゾ ロ ニ ナ ツ カ シ ツ

キ — ミ サ ウ —  
 き — み さ う —  
 キ — ミ サ ウ —

## 反復記號

樂曲の一部を反復して奏唱する場合がある。

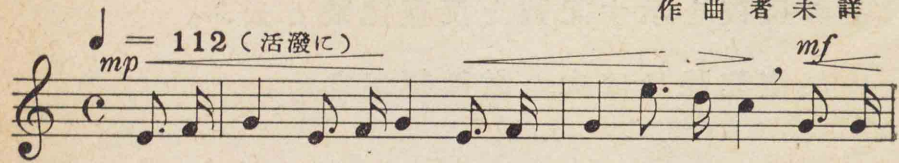
その反復を示す記號を反復記號と云ふ。

反復記號には次の數種類がある。

1. 前半の反復
2. 後半の反復
3. 前半及び後半の反復
4. 終の部分の異なりたる樂曲の反復
5. 最終より始に反り中途にて終止するもの
6. 記號※より記號※に反復し中途にて終止するもの

# 運動會

作曲者未詳



1. テ ア シ キ タ ヘ ワ ザ ヲ ネ リ テ マ チ  
 ト モ ニ マ ヒ テ ト モ ニ カ ケ ン タ ノ  
 2. が く の ね に も え ま ひ あ ふ れ さ ち  
 と も に ま ひ て と も に か け ん た の



ニ マ チ シ ケ フ ゾ ソ ラ タ カ ク ヒ  
 シ ケ フ ノ ヒ ト ヒ  
 も み ち し け ふ ぞ ま け た れ ど か  
 し け ふ の ひ と ひ



ル ガ ヘ ル ハ タ サ ヘ モ ウ レ シ ガ ニ  
 ち た れ ど し た し く も て を と り て

# 二 運 動 會

葛 原 園

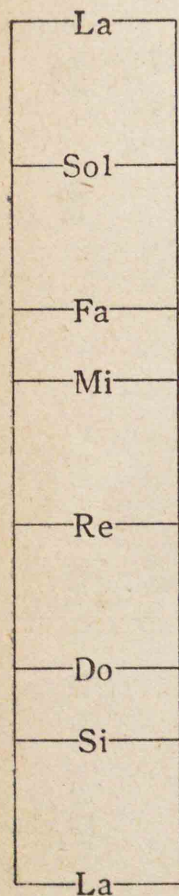
一、手足 きたへ 技をねりて、  
 待ちに 待ちし 今日ぞ。  
 空高く ひるがへる  
 旗さへも うれしげに、  
 共に舞ひて 共に駈けん。  
 二、樂の音にも るまひあふれ、  
 幸も 満ちし 今日ぞ。  
 まけたれど、かちたれど、  
 したしくも 手をとりにて、  
 共に舞ひて 共に駈けん。  
 樂し、今日のひと日。  
 樂し、今日のひと日。

### 短音階

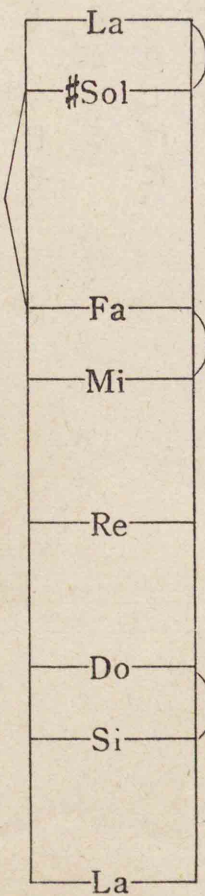
短音階には自然的短音階和聲的短音階及び旋律的短音階の三種類がある。

次に以上三種の短音階を圖解しよう。

自然的短音階圖 和聲的短音階圖

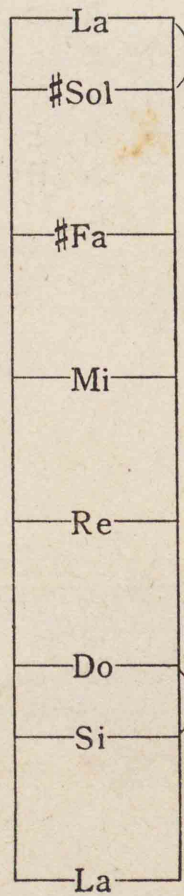


和聲的短音階圖

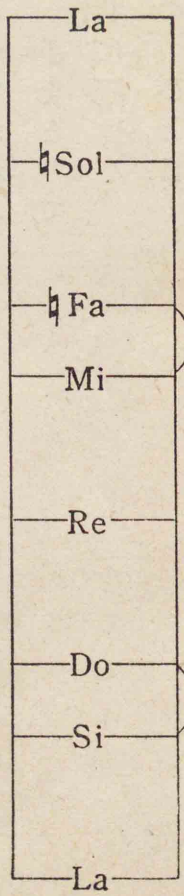


旋律的短音階圖

上行

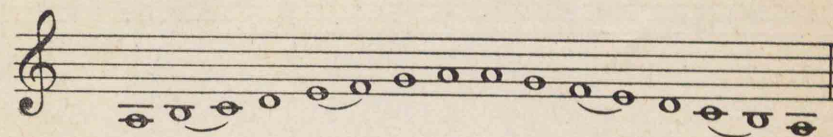


下行

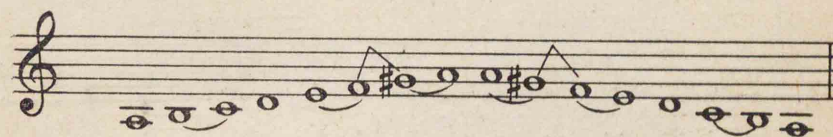


短音階を高音部譜表に配記すれば次のやうである。

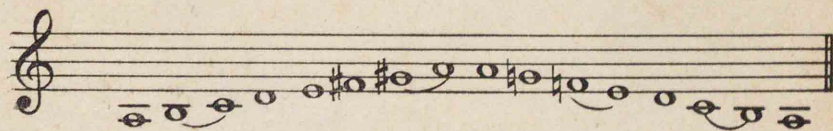
#### イ. 自然的短音階



#### ロ. 和聲的短音階



#### ハ. 旋律的短音階



# 針 と 糸

民 謡

$\text{♩} = 88$  (のんびりと)

*mp* *mf*

1. ラ ト メ ノ ユ ビ ニ イ ツ モ モ タ レ コ  
 2. に し き も あ や も は こ ぶ は り の ぬ  
 3. ラ ミ ナ ノ ツ ト メ イ ヘ ノ マ モ リ ナ

コ ロ ノ マ マ ナ ル ハ リ ト イ ト ヨ  
 ひ ゆ く ま ま に ぞ き ぬ と な ら ム  
 ツ カ シ ヌ ビ バ リ ユ カ シ イ ト ヨ

# 二 針 と 糸

一、少女の指に いつも持たれ、

心の儘なる 針と糸よ。

二、錦も綾も、運ぶ針の

縫ひゆく儘にぞ 衣とならむ。

三、女のつとめ、家の守り、

懐し 縫針、床し糸よ。

川 路 柳 虹

# 野 分

エストニア民謡



1. ノ ヤ マ ノ チ グ サ ー モ ミ ヤ コ  
 2. と も し び し た し ー く ふ み よ  
 3. ア キ コ ソ キ タ ー ー レ ロ バ タ



ノ タ チ キ モ コ ヨ ヒ ノ ノ ワ キ ー  
 む ま ど に も さ び し き あ め か ー  
 ノ コ ホ ロ ギ チ ロ ロ ト ナ キ デ ー



ニ フ カ レ テ ナ ビ カ ム  
 ぜ し ぶ き は ま さ り ぬ  
 デ ノ ワ キ ゾ ミ ニ シ ム

# 一三野 分

一、野山の千草も 都の立木も、

今宵の野分に 吹かれてなびかむ。

二、ともし火親しく 書讀む窓にも、

さびしき雨風、しぶきはまさりぬ。

三、秋こそ來れ、爐端のこほろぎ

ちろろと鳴きでて、野分ぞ身にしむ。

佐藤惣之助

### 八分の六拍子

八分音符を一拍とし、一小節間を六拍に數へるときは八分の六拍子と云ふ。

アクセントは 

となる。

- 一、秋あきのみのりは豊ゆたかに、  
落穂おちほ拾ひろふ雀すずめ。
- 二、村むらは祭まつりの賑にぎひ、  
人ひとは路ぢにつづく。
- 三、太鼓たいこのひびき笛ふえの音ね、  
晴はれし空そらにきこゆ。

### 一四秋祭

河井醉茗

### 秋祭

$\text{♩} = 56$  (輕快に) O. Miessner 作曲  
*mf* 

1. ア キ ノ ミ ノ リ ハ ユ タ カ ニ
2. む ら は ま つ り の に ぎ は ひ
3. タ イ コ ノ ヒ ビ キ フ エ ノ ネ

*mp*   
オ チ ボ ヒ ロ フ ス ズ メ ー  
ひ と は み ち に つ づ く ー  
ハ レ シ ソ ラ ニ キ コ ユ ー

### へ 長 調

高音部譜表の第三線(口音)に變記號(b)を附記した時はへ長調と云ふ。

へ長調はへ音に相當する第一間及び第五線等が主音(Do)となる。

調號及び主音

### へ 調 長 音 階

### ハ 調 長 音 階

### へ 調 長 音 階

### へ 長 調 練 習 曲



# 紅葉

L. Wood 作曲



1. アキゾラハレ タール ヤマ デヲユケ  
 2. しぐれにいろ こき はやしにたて



バ ハ ゼ カヘ デ イ ロ ヅ キ テ シ  
 ば つ た か づ ら あ け に も え し



ウ ショク フ カ シ ソ ヨ ロ カ ゼ フ  
 う しょく ふ か し お ち ば の こ み



ケ ー バ チ リ ク ル ー モ ミ デ  
 ち ー も あ め に さ ー さ や く

# 一五紅葉

喜多あい

一、秋空晴れたる 山路を行けば、

櫨・楓色づきて 秋色ふかし。

そよろ 風吹けば 散り来る紅葉。

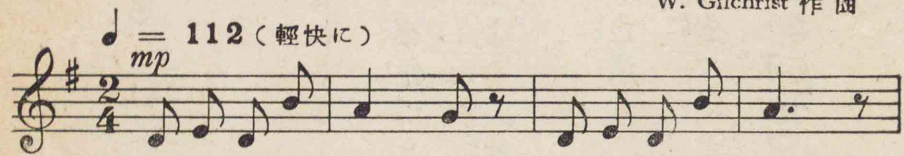
二、時雨に色濃き 林に立てば、

葛朱に燃え 秋色ふかし。

落葉の小徑も 雨に囁く。

# 取 入 れ

W. Gilchrist 作曲



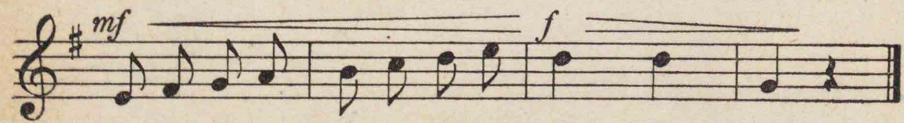
1. カル イネ ソ レ ヒニホセヤ  
 2. もみ をよ そ れ とほしに よ



カワケバ ソ レ イネコキヘ  
 かけてよ ほし ろすひきよ



シゴケバ モミハ ザラザラト  
 たうみへ なほも まんどくへ



トンボハ トマルヨワラニ  
 とんびは まはるよそらに

# 一六 取 入 れ

正 富 汪 洋

一、刈る 稻 それ 日にほせや。

かわけば それ いねこきへ。

しごけば 粃は ぎらぎらと。

蜻蛉は とまるよ 藁に。

二、粃をよ それ 粃通によ。

かけてよ 乾し、白ひきよ。

唐箕へ なほも 萬石へ。

鳶は まはるよ 空に。

# 新 月

草川 信 作 曲

♩ = 96  
mp

1. ワ タリドーリ ヒ ト ムレスー ギ テ サー  
2. こ すゑ やー や ま ば ら に なー り て ゆー

mp

ビ シ サ ノ イ ヤ マ サ リ ユ ク ユ  
ふ か ぜ に ゆ ら ぎ ゆ ら げ る た

p

フーゾラニイトモカボソクユー  
かーききのえだまかすかにちー

mf

メーノゴトホノカニウーカーブニヒ  
らーちらとみえがくれーすーるにひ

ヅキノカゲーゾユーカーシーキ  
づきのかけーぞゆーかーしーき

# 一七新 月

相 馬 御 風

一、渡鳥一むれ過ぎて

さびしさのいやまさりゆく、

夕空にいとほかほそく、

夢のごとほのかに浮ぶ

新月の影ぞゆかしき。

二、梢ややまばらになりて、

夕風にゆらぎゆらげる

高き木の枝間かすかに、

ちらちらと見えがくれする

新月の影ぞゆかしき。

# 霜

弘田龍太郎作曲



1. ニーハニ オクシモ シロクシーテ  
 2. しーもは みやーこの はしーろーへ  
 3. シーモハ ヤサーシキ タツタヒメーノ



アーキモ フカメバ イテフーノ ハ  
 わだちの あーとも おもしろく  
 シーロキ モスソノ イロナーラ バ



キーンノ コーアフギ ヒル ---ガーヘ シエ  
 やーまは にーしきの いろ ---そーめてみ  
 カキネノ キーギーク シラ ---ギーク モイ



ヒーロフ スズーメ サムーダーナリ  
 なーみの くにーへ かりーわーたる  
 ロードリ ソヘーテ ウツークーシキ

# 一八 霜

白鳥省吾

一、庭に置く霜白くして、

秋も深めば銀杏の葉、

黄金の小扇ひるがへし、

餌ひろふ雀寒げなり。

二、霜は都の橋の上、

轍のあともおもしろく、

山は錦のいろ染めて、

南の國へ雁わたる。

三、霜は優しき龍田姫の、

白き裳裾の色ならば、

垣根の黄菊白菊も、

彩添へて美しき。

# 煤 拂 ひ

B. Olds 作曲



1. ト シノハセマリテイソガシクモ ア  
 2. は たくやものおとあがるほこり く



ネサマカブリニタスキカケテ  
 れゆくことしのちりをはらふ



トッ トン サッ サ ススハラヒ  
 とん とん さっ さ いそがしや



コネコハオドロキテニゲカクル  
 おととはよろこびてかけまはる

# 一九 煤 拂 ひ

浅野薰雨

一、年の端 迫りて 忙しくも

姉さまかぶりに 禪かけて、

とん とん さつさ 煤拂ひ。

子猫はおどろきて にげかくる。

二、はたくや 物音 あがる埃、

暮れゆく今年の 塵をはらふ、

とん とん さつさ 忙しや。

弟はよろこびて かけまはる。

# 羽子つき

杉山長谷夫作曲

♩ = 100 (可愛らしく)  
mp

1. ハ ネヲ ツキマシヨ アソビマ シヨ  
2. は ねを つきましょ あそびま しょ

ヒ ヤ フ ヤ ミ ヤ ヨ  
ひ や ふ や み や よ

mp

ナ ガ イ タ モ ト ガ ジャ マ ニ ナ ル  
か み の リ ボ ン が す べ り さ ろ

mf

ヒ ロ イ シ バ フ ノ ヤ ハ ラ カ ニ  
あ を い み そ ら に し ろ い く も

mp

ハ ネ ガ マ ヒ マ ス ヒ ラ ヒ ラ ト  
ゆ き が ふ り ま す ち ら ち ら と

# 二〇 羽子つき

岡部嘉一

一、羽子をつきましょ

遊びましょ。

一や二や三や四、

長い袂がじやまになる。

広い芝生のやはらかに

羽根が舞ひます、ひらひらと。

二、羽子をつきましょ

遊びましょ。

一や二や三や四、

髪の毛がすべりさう。

青いみ空に、白い雲

雪が降ります、ちらちらと。

# 山茶花

A. Hartmann 作曲

♩ = 104  
mf

1. フ ユ ノ ヒ ノ カ ゲ モー サ エ テ ベ  
2. か ぜ も な き か き の 一 ほ と り ほ  
3. キ コ ユ ル ハ ス ズ メー ノ コ エ ト

ニ ニ シ ロ ニ イ マ ヤ サ ケ ル サ  
ろ り ほ ろ り は な は ち り て し  
ホ キ ト ホ キ マ チ ノ ヒ ビ キ ケ

ザ ン ク ヲ ノ ヤ サ シ キ ハ ナ  
づ か な る に は の け し き  
フ モ ハ ヤ タ ソ ガ レ ユ ク

# 三 山 茶 花

佐藤惣之助

一、冬の日の影も冴えて、  
紅に白に今や咲ける、  
山茶花の優しき花。

二、風もなき垣のほとり、  
ほろりほろり花はちりて、  
しづかなる庭の景色。

三、聞ゆるは雀の聲、  
遠き遠き街のひびき、  
今日も早黄昏れゆく。

# 木 枯 し

小松耕輔作曲

♩ = 88 (静かに) *mf*

1. キギヲユリマドベナラシー  
2. とほぼえのいぬのながな—

テコガラシノヨルトハナリ—  
きいもうとよおそれずねむ—

*p* スイヘノウチロヲバカコミ—  
*mf* れあらしすぎあした—きな—

ツキタノウミコヨヒアレム—  
*f* ばうらにはにとりのおとせ—

*p* トケイハウヲラヂオハツタフ  
*mf* しふのいれるはねをさがさむ

# 三 木 枯 し

伊 東 静 雄

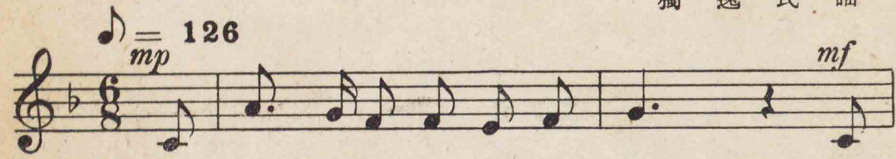
一、樹樹を揺り、窓べ鳴らして、  
木枯の夜とはなりぬ。  
家の内爐をば圍みつ、  
北の海今宵荒れむと  
警報をラヂオは傳ふ。

二、遠吠えの 犬の長鳴き、  
妹よ、怖れず眠れ、  
嵐すぎ朝來なば、  
裏庭に鳥の落せし  
斑のいれる羽根をさがさむ。

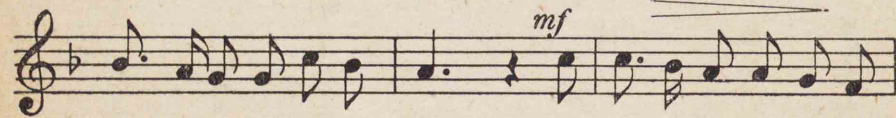


# 日向ぼこり

獨逸民謡



1. コ ガ ラ シ フ ケ ド モ サ  
 2. こ こ ろ は ほ の ぼ の わ  
 3. オ モ ヒ ハ ヤ ス ケ ク テ



ス ヒ ハ ア タ タ カ ヒ ナ タ ボ コ リ ミ  
 れ を ば わ す れ ぬ う め の は な も 忍  
 ル ヒ モ ア カ ル シ ヒ ナ タ ボ コ リ キ



ヤ ル メ ニ ア ヲ ゴ ラ ア ヲ シ ナ  
 み そ め て し ら く も し ろ し な  
 ク ミ ミ ニ ト リ ゴ エ ウ レ シ ナ

## 三三 日向ぼこり

佐澤波弦

一、こがらし 吹けども、射す陽はあたたか。

日向ぼこり、見やる眼に 青空青しな。

二、心は ほのぼの、われをば 忘れぬ。

梅の花も 笑みそめて、白雲 白しな。

三、思は 安けく、照る陽もあかるし。

日向ぼこり、聴く耳に 鳥聲うれしな。

# お 彼 岸

J. Ellvey 作曲

*mp* = 108 (あどけなく)

1. オ ヒ ガ ン マ キ リ オ ヒ ガ ン マ キ リ  
 2. お ひ が ん ま ゐ り お ひ が ん ま ゐ り

*p*

ホ ホ エ ム ハ ル ノ ヒ カ リ ノ ナ カ ニ  
 を ろ が み ま つ る こ こ ろ の ま へ に

*mp* *mf*

シ ダ レ ノ サ ク ラ チ ラ ホ ラ サ イ テ  
 み て ら の あ か り ほ の か に し ろ く

*f*

ナ リ マ ス カ ネ ガ ボ ダ イ ノ カ ネ ガ  
 な り ま す か ね が じ ェ う ど の か ね が

# 一四 お 彼 岸

富 原 義 徳

一、おひがんまゐり、  
 おひがんまゐり、

微笑む春の  
 光の中に、

しだれのさくら  
 ちらほら咲いて、

鳴ります鐘が、  
 菩提の鐘が。

二、おひがんまゐり、  
 おひがんまゐり、

をろがみまつる  
 心の前に、

み寺のあかり  
 ほのかに白く、

鳴ります鐘が、  
 浄土の鐘が。

# 少女の誇

宮原禎次作曲



1. ハル—サキ ガケテ ユキシ—モノ  
2. のに—こち さゆる きさら—ぎの



ナ カニモ エメル ウメ—ノハ—ナ ツ  
そらほがらかに あげ—ひば—り た



ヨ キココ—ロ ノカ—ヲ リコ ソ—  
かきのぞ—みのう—たこそは—



ワ レラヲ—トメノホ コ—リーナレ  
をとめわ—れらのほこ—り—なれ

# 一五 少女の誇

志村龜助

一、春さきがけて雪霜の、

中にも笑める梅の花、

強きころの薫こそ、

われら少女の誇なれ。

二、野に東風返ゆる如月の、

空ほがらかに揚雲雀、

高き理想の歌こそは、

少女われらの誇なれ。

昭和十二年九月二十日印刷  
 昭和十二年九月廿五日發行  
 昭和十三年三月二十日訂正再版印刷  
 昭和十三年三月廿五日訂正再版發行



新修女子音樂（卷之壹）

定價金四拾五錢

編纂者 水野康孝  
 發行者 三木佐助  
 發行所 大阪開成館  
 印刷所 日本印刷製本株式會社

大阪市東區北久寶寺町心齋橋筋角

三木樂器店

振替大阪七九番

東京市日本橋區吳服橋二丁目五番地

林平書店

振替東京二三七一番

發賣所



広島大学図書

0130449453

